

## 令和3年度第1回大阪府企業立地促進補助金審査会（府施策との整合性審査） 概要

日時 令和3年7月28日（水）13時30分から16時30分まで  
場所 大阪府咲洲庁舎25階会議室（大阪府が指定するWeb会議室）  
案件 3件

審査委員 京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 教授 河瀬 元明（会長）  
（敬称略） 左川中小企業診断士事務所 中小企業診断士 左川 睦子  
追手門学院大学 地域創造学部 地域創造学科 准教授 藤原 直樹  
武庫川女子大学 経営学部 経営学科 専任講師 山下 紗矢佳

### 【審査項目（6項目）】

- 1 立地する事業所で実施する事業内容
  - （1）雇用の拡充
  - （2）生産性・効率性の向上度
- 2 立地する事業所の機能・役割
- 3 立地企業の経営基盤等
  - （1）経営基盤
  - （2）経営改善や人材育成等の取り組み状況
  - （3）事業実績

### 【1】日本スーパー工業株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

#### （1）事業概要

- 電子部品製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 和泉市あゆみ野／13,887.60 m<sup>2</sup>／3,264.78 m<sup>2</sup>
- 補助対象経費／補助金額 約5.3億円／3,000万円

#### （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

#### （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定

- 審査方法
  - ・各委員が審査項目（6項目）を5段階評価（5点満点）し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
  - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が**23.25点（30点中）**であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
  - ・精密機械加工の高い技術を有することは、スピンドルモーターの独占的シェアに示されている。今回の投資計画も、産業集積促進に適う計画であると認める。
  - ・ティア1企業との取引を継続するために、これからも確実な品質管理体制を維持してほしい。
  - ・事業計画では、チャレンジする加工領域の売上計画に加え、技術面での計画・目標を立て、計画達成への取り組み、自社の優位性確保のための技術力を確保できる取り組みを期待する。
  - ・ハブ生産拠点の岡山県への移行を検討しているなかで、大阪の拠点を縮小するのではなく新しい事業を育成していこうとする積極的な取り組みであり、企業立地後に期待したい。

### 【2】サカエ株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

#### （1）事業概要

- プラスチック製品製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 東大阪市新喜多／1,510.14 m<sup>2</sup>／1,345.68 m<sup>2</sup>
- 補助対象経費／補助金額 約4.1億円／3,000万円

#### （2）補助金の種別 …… 府内投資促進補助金（産業集積促進地域における工場等）

#### （3）審査結果：補助事業者として適当であると認定

- 審査方法
  - ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
  - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **21点(30点中)** であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
  - ・グループ会社と工場を集約することで生産性を向上させるものであり、産業集積の意義が認められる。汎用性が高くコスト競争にさらされる製品となっているが、集約による試作品製造の迅速化は強みになると考えられる。
  - ・現在の主力製品の対象業界は厳しい状況であるが、新工場で特定の業界に依存しない製品製造、コスト競争に陥らない付加価値のある製品をつくることでさらなる発展を期待する。
  - ・プラスチックリサイクルの取り組みは、人口が集中する都市部近郊の機能として評価できる。
  - ・SDGs に関する取り組みは、今後も重要であるため、しっかりと進めて欲しい。

### 【3】ニューレジストン株式会社による事業計画に係る府施策との整合性審査

#### (1) 事業概要

- 研削と石製造業の工場の立地
- 立地場所／敷地面積／延べ面積 泉南郡岬町多奈川谷川／**33,000.01 m<sup>2</sup>**／**6,675.53 m<sup>2</sup>**
- 補助対象経費／補助金額 約 **18.1 億円**／**3,000 万円**

#### (2) 補助金の種別 …… 府内投資促進補助金(産業集積促進地域における工場等)

#### (3) 審査結果：補助事業者として適当であると認定

- 審査方法
  - ・各委員が審査項目(6項目)を5段階評価(5点満点)し、平均評価点が7割以上を満たすこと
- 審査結果
  - ・各委員が評価した結果、評価点の平均が **24.75点(30点中)** であり、平均評価点が7割以上となった
- 委員の主な所見
  - ・新たな企業立地をきっかけに、従来の工場(場所)を活用して研究開発を強化しようとする方針を積極的に評価したい。
  - ・業界シェア2位の企業が工場を集約し、生産効率の向上を図ろうとするもので、産業集積促進に寄与する計画であり、跡地となる現在の工場も研究開発拠点として活用する合理的な計画である。
  - ・新素材を使った開発にも取り組んでおり、新たな素材で工業用砥石の市場シェア拡大を計画していることは期待できる。
  - ・審査項目に対して適切に説明する資料を作成しており全体として評価できる。今回の新工場建設を機にさらなる効率性の向上と新製品開発に努められたい。